

9月定例会日程のお知らせ (予定)

9月20日(木)	定例会開会	(午前10時開議)
26日(水)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
27日(木)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
28日(金)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
10月1日(月)	各常任委員会	
3日(水)	本会議・閉会	(午前10時開議)

※この日程は、6月22日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には9月18日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。

電話 22-1111/内線2411・2412

友好都市議員交流会

去る、5月30・31日の二日間
にわたり、桑名市・行田市の議
員の皆様をお迎えし、友好都市
議員交流会を開催しました。こ
の交流会は三市持ち回りで4年
に一度開催されており、今回で
4回目となります。

三市の友好都市議員交流会

文政六年(1823)に白河
藩主松平定永(さだなが)が桑
名藩主へ、桑名藩主松平忠亮
(ただたか)が忍(おし)藩主
(行田市)へ、忍藩主阿部正
権(まさのり)が白河藩主へと



桑名、行田、白河三市の友好都議員交流の様子

いう国替えが行われまし
た。この歴史的縁により
教育、文化、経済各般に
わたる交流への機運が高
まり平成10年11月9日に
白河市・桑名市・行田市
の友好都市調印が行われ
ました。

桑名市・行田市の両市
には、昨年の東日本大震
災直後から義援金のほか、
職員派遣など幅広い支援
をいただきました。



小峰城視察の様子

表紙写真の説明

大信地域、下小屋地区にある下小屋熊野神
社に伝来する御正体みしょうたいである。
御正体は、神と仏は一体であるとした神仏
習合によって生まれた信仰の対象物で、神の
本体とされた鏡と、仏教の本尊の仏像を合体
させたもので、懸仏(かけほとけ)ともいう。
熊野神社には、銅造が一面、鉄造が五面の
計六面の御正体が伝えられている。銅造の御
正体は、鏡板の中央に薬師如来坐像があらわ
されている。その左右に花を生ける花瓶があ
るが、大部分を欠失している。裏面の銘から
永享五年(1433年)に「大檀那白河莊某
父子」が下野国宇都宮の工人大和政房に作ら
せたことがわかる。



写真は、六面ある御正体
のうちの一つ。銅製のも
のが一面と、鉄製のもの
が五面ある。左側が銅製
のもので直径は約60cm。
右側は鉄製のものの一つ。

指定種別	県指定重要文化財 (工芸品)
指定年月日	平成7年3月31日
所在地	白河市大信下小屋
所有者・管理者	熊野神社

編集後記

第27号は大信地域の文化財になりました。
数ある中から熊野神社の御正体を選ばせてい
ただきました。
この御正体
は1443年、
宇都宮の鑄物
師によってつ
くられ、現在
は宮沢に鎮座
する熊野社は
伊那那美命と
速玉之男命と
ご祭神として
お祭りしてい
ます。



十文字博幸 室井 伸一 佐久間 進
藤田 久男 ◎大花 務 ○深谷 博歩
◎委員長 ○副委員長